

基議厚産第256号
令和7年11月27日

基山町議会
議長 末次 明 様

厚生産業常任委員会
委員長 天 本 勉

所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を終了したので、その結果を報告します。

記

1 調査事項並びに調査期日

- (1) 下水道事業について 令和7年11月14日（金）
（概要説明及び現地視察）

2 調査結果

基山町では、町民の下水道サービスを将来にわたり安定的に提供するため、「基山町下水道事業経営戦略プラン（令和6年～15年度）」を策定している。下水道の全体計画区域は491.3haで、そのうち下水道整備済区域は281.0haとなっている。

現在、町の汚水は、町内4つの終末処理場（けやき台、基山ニュータウン、きやま台、本桜）と、小郡市の宝満川浄化センター及び鳥栖市の鳥栖市浄化センターで処理をしている。

平成30年度に福岡県において流域下水道の効率的な施設の利用に関して検討が行われ、本町の汚水全量を宝満川浄化センターで処理することが可能であるとの判断が示されたことにより、町でも効率的に事業を実施できると判断し、宝満川流域下水道へ接続先の変更を行い、令和8年度の供用開始に向け、町の汚水全量を宝満川浄化センターへ圧送するための汚水ポンプ場及び接続管渠の整備を行っている。

そして、汚水ポンプ場が完成し宝満川浄化センターへの汚水の圧送が可能に

なれば、特に採算があわない本桜処理場ときやま台処理場を廃止することで維持管理費の削減につながり、経営の効率化が見込まれる。

また、町内企業に対し下水道管への接続をお願いして接続促進に取り組んでいるとの説明を受けた。

当委員会は、町内4つの終末処理場のうち、きやま台、本桜、けやき台処理場の現地視察を行い、施設の整備や処理状況を確認した。

当委員会としては、監査委員からの指摘にもあるように、今後施設の老朽化や物価高騰による維持管理費の増加が見込まれるため、町内企業の接続を積極的に行い、収入の確保に努めていくように提案した。